

急逝した林明代さんの遺志引き継ごう 人と人つなぐ「まちづくり」を推進

10月1日、まちづくり活動に多大な貢献をされた高森台の林明代さん（ハナモモ桃源郷の会リーダー）が、突然亡くなられた。それまで元気で前兆もなかったのに、大動脈破裂で逝ってしまい、ポッカリ穴が空き、寂しさ、悲しみが溢れてくる。どんぐりsの会員でもあり、イベント等のチラシ作成時に協力依頼するとイラスト、構成等で才能を発揮し、実に頼り甲斐のある方であった。相談すると「どこが困っているの」と柔和な笑顔で、いつも親身になって解決してくれた。まちづくりで常々口にしていた、「人は宝であり、人と人の繋がる機会をつくるのが大切」との言葉が忘れられない。人同士が会う場所となる組織を作り、イベント等を行えば、人それぞれの個性で役割が発揮でき、生き活きたまに繋がることは間違いない。

色々な組織で活躍されたが、誰にも気遣いがあり、ほころびを直す接着剤のような貴重な役割を担っていた。亡くなる直前まで長い間、まちづくり活動に打込み、人との出会いづくりに携わってこられた功績は、筆舌に尽くしがたいものがある。

翻って、人と人の繋がる目でどんぐりsのまちづくり活動を振り返ってみたい。生き甲斐と活気あふれる「まちづくり」をテーマに、様々な団体と連携し、人同士の接点を大事に取り組んできているが、未だ道半ばである。ただ、従来とは違ったいくつかの輪の広がりが、環境整備活動面に出てきている。4年目に入った高森山の里山づくりでは、行政の春日井市ニュータウン創生課や第三セクターの高蔵寺まちづくり株式会社、また、UR都市機構等と同じ目標である未来プランを通して、人と人の繋がりが強固



高森山整備に参加した林さん(右端)=20年4月

になり、イベント等で相談しながら行動している。

ニュータウンにおける自然のシンボルである高森山公園を誰もが気楽に利用できるようにしたい。それには、将来、造成工事等を伴う未来プランを実現しなければならず、行政やURの協力、支援は不可欠である。加えて、今後、造園業者等、民間企業との連携も必要となり、産官民一体となって進めることが望ましい。

未来プランとは、①高森山の豊かな自然をできる限り保全の上、雑木林の里山に変える。②子供達が安心して学び遊べ、大人には自然に親しめ、健康と憩いを感じられる場所。③防災防犯の場所として、常時住民が利用でき、災害時の広域避難先となる④周辺の「少年自然の家」「緑化植物園」「東部丘陵」と合せ、まちづくりの一環として自然環境に恵まれたスポーツ健康公園。(スマートウエルネス構想)⑤公園の整備、維持管理は、住民と行政等が一体となり、専門家を含めて長期継続できる仕組みづくり、等である。(2頁に続く)

(1ページから続き) 一方、玉野の休耕地を利用し、野菜作りを楽しんでいる生き生き楽農会も12年目になり、徐々に目的が浸透し、人と人の繋がりが深まっている。単なる趣味の会ではなく、地域の自然環境保全と玉野の地域住民とのコミュニティづくりである。この間、玉野の方々との交流が深まり、恒例の行事である定期的な農耕地周辺の一斉溝さらえや草刈り、近くを流れる庄内川河川敷の清掃が、玉野農用地利用改善組合(玉野ふるさと農園や美しい玉野を守る会を管轄)に認められ、便宜供与(稲藁、草木灰、支柱等)や「美しい玉野を守る会」から助成金が支給されている。今期、集団で耕作中の楽農会直営農園約150坪が急遽地主からの返還要求があり困惑したが、玉野ふるさと農園が同規模の代替地を探していただきことなきを得た。この農園は、若手女性が中心で利用し、さらに同

年齢層が増えつつあるので、後継者として期待できそうである。最近、コロナ禍の影響もあり、農業従事者が増えているようで好ましい。玉野住民と耕作放棄地をなくし、自然環境を守る幅広い連携、また、若い人達の参入等により、輪が広がり楽しみである。

これからも、林さんの遺志を引継ぎ、やり残されたことを少しでもお手伝いしていきたいと思っている。
(堀内 泰)

第2回高森山で紅葉を見よう会 身近な秋、楽しむ

どんぐりs
とUR共催の
「高森山で紅葉を見よう会」
が11月20日開かれ、晴天にも恵まれ



親子連れなど78人が参加した。参加者は黄色や赤に色づいた散策路でガイドから植生の解説を聞きながら深まる秋を堪能した=写真。参加者の最高齢は88歳で、岐阜市や小牧市などニュータウン外からも多くの人々が訪れた。子供たちも散策の後、落ち葉の万華鏡づくりやどんぐりコマ遊びに歓声を上げていた。また、CCネットウィークリーかすがいが12chで、12月6日~1週間、放映します。是非、ご覧願います。

私の朝・昼・晩

私の認知症予防

5年前から自宅で月・木・土の13:30~16:00まで春日井市の支援を受けて高齢者のための「健康マージャン」を開いている。まったくの初心者だった私が今はゲームを楽しむことができほど上達しているのは優しいおじさんたちの厳しい指導のおかげだと思っている。

マージャンは認知症予防に効果があるので女性も、もっと参加されたいと思う。以前に老後は2000万円必要ということがニュースになりビックリしたが、上野千鶴子さんの「在宅ひとり死のすすめ」を読んで少し安心した。いつかは誰でも「おひとりさま」になることは避けられないが、最近私の周りでも「おひとりさま」が増えている。この本のように「おひとりさまでも認知症でも大丈夫」な世の中になればと願っているの、それまで私はマージャンを楽しみながら認知症予防に勤しむことにしよう。(飯田知恵子)

住まい困りごと無料相談

●電話または直接面接会場にお越しください
☎080-5297-8956(長谷川)
面接相談会日;12月12日(日)1月22日(土)
(いずれも13:30~16:00)
会場;東部ほっとステーション
(サンマルシェ南館1階)

ハート・ほっと・ルーム

日時12月26日(日)、1月23日(日)
(いずれも13:30~17:00)
会場;東部ほっとステーション
参加費;無料
連絡先;☎090-6330-4393(浪川)